



学校だより

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

第 448 号

横浜市立みたけ台中学校

令和6年 4月 8日

学校教育目標：めざします！ いきいきと楽しく 笑顔あふれる学舎（まなびや）を！

令和6年度がスタートします。どうぞよろしくお願ひいたします。

校長 羽田 敏隆

みたけ台中学校の校長として2年目を迎えます、羽田 敏隆（はだとしたか）です。小学校から通算して「みたけ台」は6年目になります。いつもあたたかく保護者の皆様・地域の皆様にご協力をいただき、こころより感謝しております。生徒たちの成長のために頑張っています。今年度もどうぞよろしくお願ひします。



ブルが映える新エバター

令和6年度は、新入生92名を新たに迎え、新2年生89名、新3年生98名、全校生徒279名でスタートしました。

いつの時代もそうですが、4月は新しい学年での希望や期待・やる気にあふれる半面、学習や友人関係などの漠然とした不安が大きい時期でもあります。周りの環境の変化への戸惑いは大きいです。この不安定な気持ちを教職員一同でしっかりと受け止め、子どもたちを支えていきたいと思ひます。



本校では定期的に生活のアンケートを取るとともに、たくさんの花が生徒を明るく迎えます

長期休業明けには担任との面談を行い子どもの思ひを把握・理解することに努めています。子どもたち一人ひとりの変化に敏感でありたいですし、その思ひを受け止めたい（=受容）と思ひます。

昨年も年度当初にお伝え・お願ひしたことでありますが、子どもの教育のベースは家庭であることは言うまでもありません。学校での子どもたちの様子をいろいろな形でお伝えするよう心掛けていきますので、学校と家庭でしっかりと連携していきましょう。

思春期の中学生の時期は、自分に向き合ってくれる大人の存在が不可欠です。成長・発達段階に応じて、小学校とはまた違った、保護者・教職員の関わりを大切にしていきたいと思ひます。

状況や必要によっては「特別支援教育総合センター」「区役所」「児童相談所」「警察」など、子どもの健全育成に関わる機関との連携・協力も必要になります。社会の仕組みを活用し、保護者も学校も地域社会も含めた「みんなで」、みたけ台中学校の子どもたち「みんなを」育てていきましょう。

年度初めにいろいろと書かせていただきましたが、そのバックボーンは健康です。身体と心の健康は何にも増して大切です。子どもも大人も、笑顔で挨拶を交わしあい、あたたかく前向きな気持ちで日々生活していくことが第一です。今年度もどうぞよろしくお願ひします。